

News
Letter
No.2



2015年4月
第2号

第2回日本シニア小児科医連盟会議開催にあたり

内容

- 1 ご挨拶
衛藤義勝
- 2 抄録
清野佳紀
- 3 抄録
中畑龍俊
- 4 幹事名簿
- 5 幹事名簿

ご挨拶

日本シニア小児科医連盟
事務局幹事 衛藤義勝

皆さまお元気でご活躍のこと嬉しく存じます。
さてこの度、第118回日本小児科学会総会が大阪で開催されます。この機会に平成27年4月18日(土)に第2回日本シニア小児科医連盟の総会並びに講演会会長のJCHO大阪病院名誉院長 清野佳紀先生が主催され開催いたします。

日本シニア小児科医連盟は65才以上の各界でご活躍され、現在も現役でご活躍されている先生方を中心に少しでもわが国の小児医療、医学の発展に関わることができればということで、昨年の名古屋での第117回日本小児科学会の総会時に発足いたしました。

第2回は清野佳紀先生、中畑龍俊先生の素晴らしいご講演を予定致しております。

是非皆さま方のご参集と活潑なご議論をお願いします。

第2回日本シニア小児科医連盟会議

日時：平成27年4月18日（土） 18:00～21:00

会場：リーガロイヤルホテル大阪

1. 開会挨拶

2. 年次総会

3. 講演会

清野佳紀『ワークバランスの推進が病院を活性化する』

中畑龍俊『iPS細胞技術の小児疾患領域での応用』

4. 閉会挨拶

5. Banquet

抄録

ワークライフバランスの推進が病院を活性化する
清野 佳紀 JCHO 大阪病院 名誉院長

講演テーマ：10年間の女性医師支援がどのように病院を活性化してきたか。

JCHO 大阪病院（旧大阪厚生年金病院）では、2003年頃から産婦人科医が多忙を理由に退職していき、3人になった。この流れを食い止めるべく、女性医師に短時間正社員など、育児支援制度を導入した。その結果、数年後には、女性医師を中心に産婦人科医は10人まで増員できた。

この制度を全職種に導入するとともに、独身女性や男性に対しても、育児支援以外の介護や療養のために必要な場合には、短時間正社員制度などを導入した。

この結果、職員の勤務環境が大幅に改善した。

職場が働きやすくなるにつれて、医療収入は毎年増大した。

これらの原因を分析してみると、

1. 職員のモチベーションがあがる。
2. 医師など、職員の確保が容易になる。
3. 医師、看護師などは医療資源であり、医療系職員の確保とともにDPC係数が増大し、その結果医療収入が増大する。
4. 職場が生き活きとし、医療の安全確保に役立つなどが明らかとなった。

iPS細胞技術の小児疾患領域への応用

中畑 龍俊 京都大学 iPS細胞研究所副所長、臨床応用研究部門特定拠点教授

山中伸弥教授のノーベル賞受賞後、iPS細胞研究は加速度的に進展し、より安全なiPS細胞作製法が確立されつつある。既に様々な疾患に対してヒトiPS細胞由来細胞を用いた前臨床試験が実施され、昨年9月、加齢黄斑変性の患者さんにiPS細胞から分化させた網膜色素上皮細胞を用いた世界初の再生医療が行われた。

また、様々な難病患者さんから作製した疾患特異的iPS細胞を用いた病気の原因解明、病態解析、新規治療法の開発が盛んに行われている。

本講演では、我々の研究を中心に、iPS細胞を用いた小児難治性疾患に対する取り組みについてお話ししたい。

幹事名簿

- 衛藤 義勝 (財) 脳神経疾患研究所先端医療センター長/東京慈恵会医科大学名誉教授
 山城 雄一郎 (順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座教授、名誉教授)
 清野 佳紀 (JCHO 大阪病院名誉院長、岡山大学名誉教授)
 安次嶺 馨 (沖縄県立中部病院ハワイ大学卒業医学臨床研修事業団ディレクター)
 中畑 龍俊 (京都大学 iPS 細胞研究所副所長、名誉教授)
 飯沼 一字 (NPO 法人子どもの村東北理事長、東北大学名誉教授)
 別所 文雄 (日本医療科学大学保健医療学部教授、杏林大学客員教授)
 藤村 正哲 (子ども療養支援協会会長、大阪府立母子保健総合医療センター名誉総長)
 大澤 真木子 (東京女子医大名誉教授、前副学長)
 柳澤 正義 (日本こども家庭総合研究所名誉所長、国立成育医療センター名誉総長)
 衛藤 隆 (日本こども家庭総合研究所所長、東京大学名誉教授)
 芳野 信 (久留米大学高次脳疾患研究所客員教授、久留米大学名誉教授)
 保科 清 (山王病院小児科上席部長、日本小児科医会前会長)
 松平 隆光 (松平小児科院長、日本小児科医会会長)
 井上 謙吉 (医療法人日吉いのうえ小児科院長、福岡県小児科医会副会長)
 松尾 雅文 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授、神戸大学名誉教授)
 中村 肇 (阪神北広域救急医療財団理事長、神戸大学名誉教授)
 麦島 秀雄 (日本大学医師会会長)
 杉本 徹 (済生会滋賀病院院長、京都府立医科大学名誉教授)
 吉岡 章 (奈良県立医科大学名誉教授、奈良県立医科大学前学長)
 内山 聖 (新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院院長、新潟大学名誉教授)
 横田 俊平 (横浜市立大学名誉教授)
 森川 昭廣 (北関東アレルギー研究所長、群馬大学名誉教授)
 河野 陽一 (千葉労災病院院長、千葉大学名誉教授)
 児玉 浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科長)
 阿部 敏明 (あしかが森足利病院常勤顧問、帝京大学名誉教授)
 近藤 直美 (平成医療短期大学、岐阜大学名誉教授)
 沼口 俊介 (沼口小児科医院長)
 仁志田博司 (慈誠会病院名誉院長、東京女子医科大学名誉教授)
 衛藤 隆 (日本子ども家庭総合研究所、東京大学名誉教授)
 高田 五郎 (仙台オープン病院)
 白幡 聰 (特定医療法人北九州八幡東病院院長、産業医科大学名誉教授)
 宮田晃一郎 (社会福祉法人たちばな会オレンジ学園、鹿児島大学名誉教授)
 谷澤 隆邦 (たにざわこどもクリニック院長、兵庫医科大学名誉教授)
 松石豊次郎 (久留米大学医学部小児科)
 真弓 光文 (福井大学学長)
 高柳 正樹 (帝京平成大学地域医療学部看護学科教授)
 堀内 勁 (聖マリアンナ医科大学名誉教授)
 泉 達郎 (大分大学名誉教授)
 上田 一博 (医療法人三生会みちがみ病院院長、広島大学名誉教授)
 古川 漸 (実践女子大学生活科学部応用栄養学研究室教授、山口大学名誉教授)
 武田 英二 (徳島健祥会福祉専門学校長、徳島大学名誉教授)
 大関 武彦 (共立女子短期大学看護学部教授、浜松医科大学名誉教授)
 青木 継稔 (東邦大学名誉教授)
 三池 輝久 (兵庫県立リハビリテーション中央病院、熊本大学名誉教授)
 伊藤 進 (香川大学小児科学講座、香川大学名誉教授)
 浜崎 雄平 (佐賀整肢学園からつ医療福祉センター顧問)
 浅見 直 (新潟青陵大学看護学科教授)
 太田 孝男 (琉球大学大学院医学研究科育成医学講座教授)
 伊与田邦昭 (福山市こども発達支援センター長)
 小田 慈 (岡山大学特命教授)
 小川 實 (医療法人小川クリニック理事長)
 桑原 正彦 (医療法人唐淵会桑原医院長)
 河野 斉 (福岡徳州会病院小児科顧問)
 西 美和 (三原赤十字病院小児科)
 雨宮 伸 (埼玉医科大学小児科特任教授)

